

人工股関節置換術後の脱臼予防行動における DVD 作成への取り組み

An Attempt of Making Patient-Education DVD for the Prevention of Hip Dislocation

After Total Hip Arthroplasty

東3階 越山真希、中野由生樹、香川裕美、鰐川洋子、永田賢子、天正恵治

要旨

人工股関節置換術（以下 THA）の合併症の一つに脱臼がある。昨年の当病棟の研究により、患者が脱臼予防行動を取れない原因の一つに看護師の説明不足があることが分かった。当病棟では主に術前にパンフレットを用いて指導を行っているが、術前に説明する期間が短く、指導内容を短縮してしまうなど個々の看護師によって指導内容が異なっていた。近年動画を用いた指導の有効性が報告されており、指導方法と情報提供の統一化を図る目的で脱臼予防行動についての DVD を作成した。その結果、看護師からは、指導に DVD を用いることで脱臼予防についての理解が促進されて良いのではないかという意見が聞かれ、指導に DVD が有効であると認識されていることが分かった。今回対象患者が少なく一般化できなかったため、今後対象を増やし客観的データをもとに指導効果の検証をはかる必要がある。

Key word: 人工股関節置換術、脱臼予防、DVD

I. はじめに

昨年、当病棟にて人工股関節置換術を受けた患者の脱臼予防に対する実態調査を行った。患者の脱臼予防行動は概ねできていたが、看護師が指導する上で説明が不十分である日常生活動作は、患者の脱臼予防行動への意識が低いことが明らかになった。また、脱臼予防指導は看護師間によって指導時期や方法が異なっており、統一した指導が行われていない現状が分かった。近年動画を用いた指導の有効性が報告されており、指導方法と情報提供の統一化を図る目的で脱臼予防行動についての DVD を作成した。

II. 用語の定義

脱臼肢位：股関節の伸展外旋位、健側への体幹の捻転（前方脱臼）。股関節の屈曲内転内旋位、患側への体幹の捻転（後方脱臼）。

THA：人工股関節置換術（骨移植、再置換を含む）

Ⅲ. 研究方法

1. 調査および作成期間：平成 22 年 7 月～12 月
2. 調査対象：当病棟看護師 30 名、THA を行った患者 2 名（再置換を含まず）。
3. 調査方法：脱臼予防 DVD を作成するにあたり、内容に含めたい項目について病棟看護師全員にアンケートを実施。当院整形外科の天正医師と動画内容を検討し、内容に基づき音声と動画をつけてリジルの DVD を作成した。今までのパンフレットのみでの指導に加え、全内容 20 分程度の DVD を術後 2 日目と 3 日目に一回ずつ対象患者に視聴してもらった。その後、患者と当日指導を行った受け持ち看護師に対して DVD 内容についてのアンケートを実施した。また、指導を行わなかった病棟看護師には DVD 内容についての感想を聴取した。

Ⅳ. 倫理的配慮

研究に際し、事前に当院における研究倫理委員会の審査を受けるとともに研究倫理面には十分に配慮した。また、患者、看護師に対して文書を用いて研究の目的や方法を説明しプライバシーの保護等に関する説明を行い了承を得た。

Ⅴ. 結果

1. DVD 作成のプロセス

- 1) DVD 内容については、当病棟で使用している「人工股関節置換術を受けた患者様へ」のパンフレットと、昨年の研究で使用した脱臼予防行動についてのチェックリスト項目に基づいた内容を研究班で選択。
- 2) 医師による THA についての勉強会を実施し、DVD の内容に含めたい項目や必要でない項目について看護師にアンケートを実施。体位交換や更衣の注意点についての内容を含めて欲しいとの要望が多かった。
- 3) 天正医師が以前作成した脱臼予防パンフレットをもとに、アンケート結果を組み込んで内容を決定。4) 前方脱臼と後方脱臼を分けて、①股関節の動き②危険な動き③危険な姿勢④物を拾う方法⑤車椅子移乗方法⑥靴を履く方法⑦しゃがむ方法⑧寝返りの方法⑨靴の着脱方法⑩お風呂での注意点について、医師と共に動画の撮影、編集をし、字幕を加えた。

2. DVD 内容についてのアンケート結果

当日指導を行った受け持ち看護師のアンケート結果は、「写真で見るより分かりやすく、してはいけない行動が分かりイメージしやすい」「良い動きと悪い動きが同じ人で同じ服なので分かりにくい」という回

答であった。

DVD を視聴した看護師の感想は、全員が「今後の指導に DVD が活かそうである」という感想であった。その他に、「前方脱臼と後方脱臼の違いが分かり説明しやすい」「日常生活動作が具体的に入手しており分かりやすい」という回答があった。また、今後の指導方法としては「パンフレットと DVD を両方活用するのが良い」と全員が答えていた。

患者からは「DVD を入院生活に活かそうである」という意見が聞かれた。また、改善点については、「杖と車椅子の使い方もあればよかった」「足の爪の切り方が分からない」という回答があった。

VI. 考察

動画の作成にあたり、医師の協力と病棟看護師へのアンケートにより具体的な動画の内容や構成について検討できた。看護師からは、指導に DVD を用いることで脱臼予防についての理解が促進されて良いのではないかという意見が聞かれ、指導に DVD が有効であると認識されていることが分かった。先行研究からも動画が使用された教育が成果があると報告されている。これまでのパンフレットのみでの指導では具体的な動作が分かりづらく、また指導者によって説明方法が違うという欠点があった。しかし、今回作成した DVD を使用することにより脱臼予防行動に対するイメージが付きやすく、理解されやすいと考える。また、DVD という決められた指導材料を使用することにより、看護師間の指導方法の統一を図り、指導効果の向上が期待できると考えられる。しかし、今回対象患者が 2 名と少なく、作成した DVD を用いた有効性は確認できなかった。

VII. 展望

今回は対象患者 2 名と少なく一般化できない。今後事例を増やし、DVD を使用した患者の脱臼予防行動における反応を点数化し、客観的データとともに指導効果の検証を行っていくとともに、アンケートで指摘された改善点を再考し、より患者が脱臼予防行動についての理解を深められるよう DVD 内容を改善していきたい。

参考文献

山口大学附属病院 1 病棟 7 階 河添由佳子他：人工股関節の脱臼を防止する生活指導ビデオを作成しての指導を試みて-